

【「小正月行事」を通じた学び合いを地域づくりに ～上郷もちっこフェスティバルの取り組み～】

～岩手県遠野市上郷地区公民館～

1. 事業の内容・工夫

(1) 実施主体

遠野市上郷地区公民館

(2) 連携・協働団体

保育園・児童館・老人クラブをはじめとした町内7団体(右記実施体制参照)

(3) 実施内容

- ① 地域の豊作祈願等を目的に古くから行われている年中行事「小正月行事」の体験
【「小正月行事」の主な内容】
餅つき・みずき団子作り・からすよばり※1・お田植え等
※1 からすよばり…餅を撒いてからすを呼び、稲の作柄を占う。
- ② 地域の語り部による昔話を聞くプログラム
⇒地域の文化や方言に触れることで、子どもたちの情操教育に繋がっている。



【餅つき体験】



【みずき団子作り体験】



【語り部による昔話】

2. 事業のきっかけ（取組の背景）

(1) 地域の文化に「ふれる」きっかけに

⇒年中行事や昔話をはじめとした「地域の文化」にふれる機会が減少傾向にあることから、子どもたちが地域の文化に触れる場を創出

(2) 地域づくりのために「つながる」「つなぐ」きっかけに

⇒子どもから大人までの幅広い交流の場や豊かな知恵・経験を持つ高齢者等の知識を次世代につなぐ場を創出することで、地域の住民がつながるきっかけづくりとするとともに、地域づくりにつなげる

キーポイント: 多様な主体 × 学び合い = 人づくり・つながりづくり・地域づくり

取組の工夫

① 伝統文化の学び合い

地域の高齢者等が講師となって伝承することで、地域の文化を子どもたちと学び合うきっかけとなっている。

② 多様な体験活動

子どもたちに様々な体験をさせることで、地域の教育課題の解決に寄与している。

③ 多様な主体との連携・協働

幅広い地域の団体に協力いただき、それぞれが役割を持つことで、主体的に事業に関わり、その後の地域づくりの活動に活かされている。

実施体制



3. 担当者の所感、参加者の声

【所感】

・地域住民が交流しながら様々な体験を行うことで、子どもたちの社会性や協調性が育まれ、**人材育成に寄与している**。また、本事業をきっかけに、老人クラブが子どもたちとの交流事業を企画するなど、**住民主体による事業の企画、運営の推進**が図られている。

【参加者の感想】

・なかなか家庭で行うことが難しくなっているので、子どもたちにとって**貴重な機会**となっている。
・子どもたちとの交流はとても楽しく、活動をしていくうえでの**活力**になっている。

4. 今後の展開

・次年度以降の実施予定について ⇒ **継続して実施**

【今後の課題】

- ①参加人数の維持
- ②講師の高齢化による次世代の講師の育成